

地区名	昭島市
研究主題	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 ～思考の連続性を生かした指導の工夫～
<p>【研究主題設定の理由】</p> <p>新学習指導要領で示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の指針が示された。その中で、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、理科の学習過程の特質を踏まえ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの、問題を科学的に解決しようとする学習活動の充実を図ること。」が大切であると記されている。</p> <p>今年度は、さらに児童が主体的・対話的に学習に取り組むために副題として、思考の連続性を生かした指導の工夫を設定した。思考が連続するような1時間1時間の授業の流れを考えたり、単元の指導計画を考えたりすれば、児童は既習事項や生活経験を結び付けて主体的に学習に取り組めるだろうと考え、研究をすすめた。</p> <p>【研究の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学年分科会と高学年分科会に分けて年に2回、研究授業及び研究協議を実施した。 ・ 昭島市の小学校内で、水を100℃付近で沸騰させるための授業模擬実践やICT機器を活用した電流の回路を視覚的に捉える研修等を行った。 ・ 昭島市内の教育福祉総合センターの郷土資料室で、多摩川で採掘された化石を使用して授業に活用するための研修を行った。 <p>【研究の経過と内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月10日(水) 研究主題・副題の話合い年間計画の作成 分科会の決定 6月7日(水) 校外研修場所の選定 植物観察に関する指導の在り方 7月5日(水) 授業模擬実践(電流を視覚的に捉える工夫) 分科会ごとの授業検討 9月14日(水) 授業模擬実践(水溶液の性質) 分科会ごとの授業検討 10月4日(水) 実施見学「昭島市郷土資料室で化石の見学と発掘後のクリーニング体験」 11月1日(水) 研究授業・研究協議(第3学年 単元名「音を出して調べよう」) 12月6日(水) 研究授業・研究協議(第5学年 単元名「電磁石のはたらき」) 1月17日(水) 研究授業のまとめ 2月7日(水) 今年度の振り返り 次年度の研究主題の検討 	

